



滞在時間が一番長いリビングダイニングは、木の感触と周囲の視線を気にせずくつろげる空間のオアシス



障子を閉じれば、イ草と木の香りで心が落ち着く、静寂のオアシス
障子を開くと、腰掛けからLDKを見渡し会話がうまれる、喧騒のオアシス



まちなかの

アスファルトとコンクリートが多い無機質なまちに、
ひときわ目を引く左官壁と木と緑と石を使用した家。
身近に自然を感じられる環境のオアシス



設計趣旨

坂の町・神戸市垂水区、山陽電車沿いの南に位置する、バブル前に造成された住宅街。
東・北・南に隣家が迫る、閉ざされた敷地。東は日射が望めないので閉鎖的に、唯一開ける西に開く。
遠くには瀬戸内の雄、明石海峡大橋をちょっとだけ望む。

構造は3.5間×4間の総二階に、玄関の下屋と外部倉庫の下屋を携えて、無理のないシンプルな平面計画。
この箱に多種多様なオアシスという名の憩いの場を設けることで、まちなかでの暮らし方を模索した。
一人で、ふたりで、家族で、ご近所さんも、様々なコミュニティーに対応するたくさんの仕掛けが
暮らし始めるとワクワクに変わり、生きがいに変わり、オアシスへと変貌していく。
家族構成が変わり、歳を重ねるごとに、季節の変化も合わせて、暮らし方や感じ方も変わり続けるだろう。
同じ場所でオアシスの意味合いが変化し、住まい手の色に染まっていく様を楽しむ。地元の木で作り上げた
自然素材の経年変化を味とし、たくさんの変化を与えてくれる、愛着たっぷりのわが家へと成る。

構造：木造軸組工法（兵庫県産材使用） 階数：地上2階建（+ ロフト）
敷地面積：129.12 m² 建築面積：61.07 m² 1階床面積：58.79 m² 2階床面積：45.67 m²
延床面積：104.46 m²

仕上

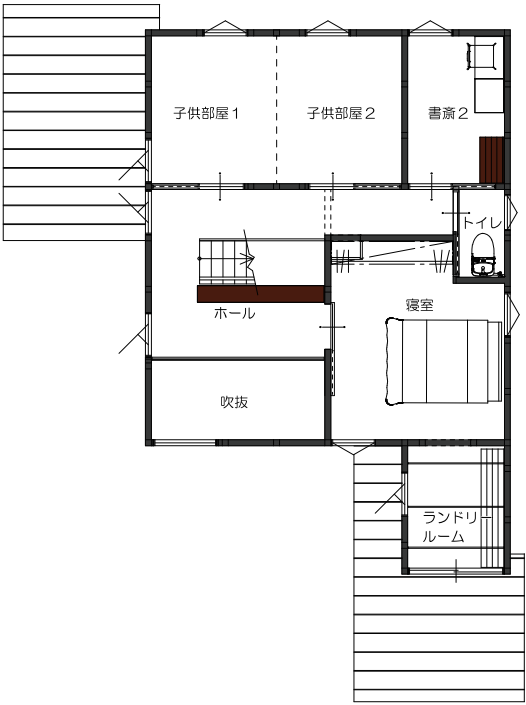
床：杉フローリング（広島県産材） 壁：エスタコウォール（ヨーロッパ漆喰）

天井：和紙クロス（土佐和紙）・構造躯体現し（兵庫県産材）

休日に庭木の手入れをし、
畑で野菜を育て
縁側で休憩をしながら、ご近所さんと会話する。
息抜きのオアシス



ふと見上げると、青い空と白い雲
ふと見下げると、家族の楽しそうな笑顔
夏は冷気を落とし、冬は暖気を上げる
吹抜で繋がる空間が家族のコミュニケーションを増やし
住環境も整えてくれる、みんなのオアシス



2階平面図



時には職場、時には遊び場
好きなものに囲まれる環境は
日頃のストレスを分散してくれる
こころのオアシス